

---

like a CAT

リル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

like a CAT

### 【Nコード】

N5938D

### 【作者名】

リル

### 【あらすじ】

自分らしく。あたしにはあたしの生き方がある。偽りで生きるあたしはもういない。隠してきた過去に、ごめんなさい、を言うべく、今、真実のあたしを語りたい。もうあなたはあなたでいいんだよ。

live

『NO . . .』

いつか話した言葉にひとつだけ嘘があるよ。  
ずっと忘れずにいた記憶。

あたしはliar。  
そう。

いつだって嘘をつく。  
守れない約束をたくさんした。

あなたを愛さない。

あたしには人を愛する資格なんてない。

e s c a p e   f r o m . .

いつも逃げてきた。

辿り着いた。

ここには綺麗な花がある。

土の匂い。  
海の匂い。

あたたかい風が吹くこの場所で、

『YES』

ここにはあたしの居場所がない。

帰りたい。

嘘にまみれ傷だらけのあの場所に。

あたしの夢を置いてきた。

今あの場所に戻れたなら、もう二度と嘘はつかないよ。

大切なものは失ってから気づく。

偽りだらけの汚れた世界で、あたしという人間が育った。

人間味とは・・・？

考えてみても答えは出ない。

やっぱりあたしには、夜の闇は必要ない。何も見えなくなるから。

眠れない街で、ため息をついた。

偽りの愛を重ねた。

人に媚びて、洋服を着せられる犬なんかよりも、自由に夜をさまよう猫のほうがまだ。



## l o n e l y

偽りの日々を続けた。

愛に飢えた猫のように。

夜の街をさまよい歩いた。

あの頃は何だっただんだろう。

真実の愛なんて必要なかった。

退屈な時間は、誰かが埋めてくれた。

一人の時間が嫌だった。

自分はいつもひとりだと思った。

だから、目の前にある人の肌に触れることで寂しさを紛らわすしかなかった。

ひとりで眠る夜は、何故か涙がとまらなかった。

このままひとり、置いていかれてしまふんだと思ったら、涙が次々と溢れてた。

10代のあたしは、涙を武器にするような技をつまく使えなかった。だから誰の前でも笑ってた。

裏切られても笑っているしかなかった。

誰かに手を切られるのがこわくてしょうがなかった。

家には居場所がなかった。

いたくもない仲間と一緒にされる学校なんて退屈で退屈でしかたなかった。

放課後には、学校の友達とカラオケやご飯に行く。

一人の時間を埋める為だけに。

楽しいなんて思ったこともなかった。

学校外の友達は、本音で気持ちを許すことができた。

決められた仲間じゃない。自分でつくった友達。偽りなんていらなかった。

夜になると毎日彼らのいる街へと向かう。

いつもの場所に行けば誰かがいる。新しい友達が次々と増えていく。本音で話せる友達だ。

何度もぶつかって、何度も喧嘩もした。

何度も笑って、毎日夜明けまで騒いだ。  
あたしの居場所はここにしかなかった。

【いつも楽しそう】

重かった。

すごく。

嫌われるのがこわかっただけ。

そんないい子じゃないよ、あたし。

いつからか、自分に疑問を持つようになった。

偽りの自分が嫌でたまらなくなった。

学校を抜け出して、友達の待つ駅に向かって夜を過ごす。

本気で怒る先生なんていなかった。

小学校の頃から毎日怒られていた。

それでも、大人にはうまく接した。

子供の武器を使った。笑っていれば、いい子。  
大人なんてかるいもんだ。

怒られて、

『ごめんなさい。』

と謝って、その後は

『先生、先生』

と言って、笑って話しかければいいんだ。

ずっと落ち込んでたり、ふて腐れたりなんかしてたら余計に厄介なことになる。



だから、あたしは何をしても、  
『手の焼けるいい子』でいれた。

くだらなかった。決めつけられた組織なんて。学校なんて。家族な  
んて。

だから、余計に夜の街に出ていった。退屈を埋めてくれるあたしの  
居場所に。毎晩。毎晩。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5938d/>

---

like a CAT

2010年10月10日07時50分発行